

# 神に問う者として

「祝福してくださるまでは離しません」

(創世記32:27)

## 学長 大住雄一

世の中には、神がおられるなら、どうしてこういうことが起こるのか、問わずにはいられないことが、沢山あります。なぜ自分(たち)が、こんな目に遭わなければいけないのか。なぜ、自分だけが。ぜひ答えてほしい。聖書を通して神に答えてほしいのです。多くの人が、この世界の苦悩の中で、そうした問いを抱えています。私たちは聖書に対する時、問いなしに読んでいるのではありません。一人一人の、そうした深刻な問いを抱えて、自分も立っています。神は必ず答えてくださいます。神学をなす者は、この問いに答えを得るまで、諦めてはなりません。相手が神であっても言わねばならない。「祝福してくださるまでは離しません」(創世記 32:27)。

神は、ヤコブ=イスラエルに「お前は神と人と闘って勝った」と言ってくさいましたが、本当に「勝った」のでしょうか。神がヤコブの腿の関節に触れただけで、関節は外れ、ヤコブは歩けなくなります。本当に彼は勝ったのでしょうか。神の圧倒的な力の前に彼は打ち伏せられなくてはならない。勝ち負けは、最初から明らかです。でも彼は諦めなかった。自分と組み打ちをする神の名を問い、しかし、彼のほうが名を変えられ、「出し抜く者」(ヤコブ)ではなく、神が闘うという「イスラエル」になりました。あなたも、ぜひ共に闘ってほしい。わからないことがあっても諦めない。神に打ち伏せられ、その御心に圧倒され、足を引きずって歩き始めたヤコブの上に、太陽が昇ったのです(創世記 32:32)。



### 東京神学大学の校章の由来

東京神学大学の校章は、ギリシア語で神学を意味するテオロギア (theologia) という単語をデザインしたものです。テオロギアとは、テオス (theos: 神) についてのロゴス (logos: 言葉・学問) という意味です。神学の学び舎では、筆の上げ下げに至るまで、神学することが求められます。



### 大学認証評価

東京神学大学は2012(平成24)年度の公益財団法人大学基準協会の大学認定評価を受審し、大学基準に適合していると認定されました。

### 東京神学大学の理念・目的 <建学の精神>

本学の理念・目的は、キリスト教の信仰に基づいた有為な指導者を教育し、教会・キリスト教学校・病院・諸施設等に送り、人類的な新たな地球共同体時代——それはまさにイエス・キリストが示した神を愛し、己の如く隣人を愛する人格的存在が互いに自由と謙遜をもって築き上げる共同体である——の担い手を涵養育成すること、またそのために専門的な神学の理念と応用を修得させることである。